

## ＜肝臓＞臓器提供者（ドナー）適応基準

1. 以下の疾患又は状態を伴わないこととする。
  - (1) 全身性の活動性感染症
  - (2) HIV抗体、HTLV-1抗体、HBs抗原などが陽性
  - (3) クロイツフェルト・ヤコブ病及びその疑い
  - (4) 悪性腫瘍（原発性脳腫瘍及び治癒したと考えられるものを除く。）
  
2. 以下の疾患又は状態を伴う場合は、慎重に適応を決定する。
  - (1) 病理組織学的な肝臓の異常
  - (2) 生化学的肝機能検査の異常
  - (3) 1週間以内の腹部、消化管手術及び細菌感染を伴う腹部外傷
  - (4) 胆道系手術の既往
  - (5) 重症糖尿病
  - (6) 過度の肥満
  - (7) 重症の熱傷
  - (8) 長期の低酸素状態
  - (9) 高度の高血圧又は長期の低血圧
  - (10) HCV抗体陽性

備考) 摘出されたドナー肝については、移植前に肉眼的、組織学的に観察し、最終的に適応を検討することが望ましい(移植担当医の判断に委ねる)。

付記 上記の基準は適宜見直されること。